

SPRING



絆



◎FD.EYE
学長トークエッセイ
入学おめでとう!

◎FD.NEWS
新入生へのメッセージ
役職者の紹介および挨拶

◎サクセスへ 福大OBに聞く
造形美術家
福山・ヴィオ・芽子さん

◎研究最前線
・SiPモジュール設計製造技術の確立
・使用済み紙おむつの再利用および
再資源化システムに関する研究開発

◎6つのサポートセンター
就職・進路支援センター編

◎あの日あの時
卒業おめでとう!

◎キャンパスライフ特集
学食制覇



福岡大学の厚生施設数

6つの食堂、2つのレストラン、4つのラウンジ、1つのカフェ。2つの書籍売場、3つの売店、写真スタジオ、情報プラザ、保険相談コーナー、旅行コーナー、ATMコーナー。平成16年4月現在の福岡大学の厚生施設数です。創立70年を誇る本学ですが、戦前には厚生施設はありませんでした。学生数が少なかったことありますが、その頃は「学校とは勉学と鍛錬の場だ」という考えが普通で、また全般に質素な時代だったのでしょう。ちなみに福岡大学で最初に誕生したのは第一食堂。

数字で見る福岡大学

23

当時は生活も食糧事情も現在ほど豊かではなく、日々の食事にも事欠く学生たちも少なくなかったのです。だからボリュームと価格の安さを主に考えられていました。現在でもその思いは受け継がれていますが、素材の良さ、栄養バランス、美味しさ、そして雰囲気重視されるようになってきました。最も新しい施設がレストラン・セレーヌ、カフェ・セレーヌであることが、そのことを象徴しているのかも。厚生施設は学生の生活を支える「思いやりとやさしさ」の施設。その精神だけは時代が流れても不変です。



FINE DREAM

表紙のタイトル
FDは、このキャンパスで在学生の皆さん一人ひとりが、美しく素敵な夢(FINE DREAM)を育ててくれるようにとの願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

CONTENTS

- 2 **〈FD. EYE〉**
学長トークエッセイ
入学おめでとう!
- 4 **〈FD. NEWS〉**
新入生へのメッセージ
役職者(副学長・学部長・教務部長・学生部長)の紹介および挨拶
- 6 **〈サクセスへ～福大OBに聞く〉**
私のターニングポイント 造形美術家 福山・ヴィオ・芽子さん
**軽やかに蝶は飛び、
しなやかに海を渡った。**
- 9 ◎OB・OGメッセージ 夢をかなえるために
- 10 学部長に質問! 人文学部長・スポーツ科学部長
- 12 各学部の特色ある教育
- 14 **〈研究最前線〉**
・SiPモジュール設計製造技術の確立
・使用済み紙おむつの再利用および
再資源化システムに関する研究開発
- 16 ◎6つのサポートセンター
就職・進路支援センター編
- 18 ◎福岡大学創立70周年・薬学部開設45周年記念薬学部棟建設募金
寄付申込者ご芳名一覧 第3回
- 20 ◎あの日あの時
卒業おめでとう!
- 22 ◎キャンパスライフ特集
学食制覇
- 26 ◎ななくま通信
- 28 ◎Fukuoka University Information
図書館紹介



2-学長トークエッセイ



6-造形美術家
福山・ヴィオ・芽子さん



20-卒業おめでとう!



22-学食制覇



このマークは、大学基準協会が大学基準に適合していると認定した大学に対して与えるものです。

ACCREDITED
2002.4~2012.3

知ってなるほど

福岡大学物語 第五章

廃墟の中から芽吹くもの

昭和19年サイパン島玉砕。開戦の責任政府である東条内閣総辞職。秋には本土空襲が本格化した。翌20年春からは九州も猛爆を受けるようになった。そして6月19日夜、本校も被爆。直撃弾を浴びた図書館が蔵書2万冊とともに全焼する。8月15日敗戦。同窓生だけで141人もの犠牲者を出した戦争はようやく終わった。残されたものは廃墟。しかし

戦場から帰ってきた教職員や学生たちは、そこから雄々しく立ち上がる。廃墟の中から若い希望が次々と芽吹く。再建は図書館から始まった。学生たちは各地区に散らばって寄付金集めに奔走する。演劇・音楽会などの活動を行って資金を集める者もいた。新入生の熱い思いを胸に、みんな強い絆で結ばれていた。



▲全焼する前の図書館内部。本学一丸となった図書館の再建は敗戦直後の誇るべきエピソードである。その成果は本号のページ(28-29)で確かめていただきたい。

写真:福岡大学大学史資料室



表紙の写真は九州経済専門学校(現九州経済大学)の学生服のボタン。デザインは現在のものとはほぼ同じである。廃墟から再建へ、強い絆のシンボルは今も黄金色に輝いている。

心から祝福いたします。

皆 さんは、志願者42,220人の中から選ばれ、入学の栄冠を得られました。心から祝福いたします。

またご家族の皆さまには重ねて心からお慶び申し上げます。さらに多数のご来賓をお迎えしています。その中に本学を45年から47年前に卒業された先輩の方々をお招きしています。

福岡大学は本年、創立70周年を迎えます。この70年の間には幾多の困難がありました。このたび皆さんが加わったことによりさらなる発展があることを祈っております。

さて入学式にあたり、新入生の皆さんに共通するいくつかの注意点を述べ、併せて本学の教育研究環境の端に触れ、歓迎の辞といたします。

大学は皆さんを心身共にがらしりとした骨格にすり上げ、その第一として「皆」です。

そしてそれから先はそれぞれの個性に合った着物を着せること、あるいは個性に合った着物を選ぶ眼を養うことにあります。

皆さんのものの考え方や流儀はおそらく皆さんの顔かたちや違つよつよつ、人それぞれ違つていてほしいです。ですから一概に君の流儀は良いとか、君の流儀は悪いとは言えず、また言うべきでない場合が多いのです。大切なことは本質的なところまできちんとしていることであつて、それから先はその人その人の考えと流儀に従つて行動することがよ

いと思ひます。いろいろな流儀の人がいるのが面白いのです。

ところで福岡大学は学生の個性を生かすこと、さまざまな工夫や制度を持っています。例えばオフィスアワーとして先生と学生が個別に会つて学習や研究上の指導を受けたり、その他さまざまな相談を受ける時間帯が設けてあります。本学の先生は、この大学の先生よりも先生に対して親切であります。先生方とよく接してこれらの制度の効果が上がるように、皆さんの方でも協力していただきたい。先生が学問をしておられる姿にじかに接することは皆さんが学者を目指す上でも、皆さんの将来にとって貴い滋養となるはずです。

さらに今ついでに希望しておきたいことがあります。それは皆さんが視野の広い人になるように心掛けてほしいという事です。つまり「コチ」の専門人では困るといふ事です。この点では皆さんがワンキャンパスの総合大学で学ぶことを幸せだと思つていただけてほしいと思います。なぜなら下宿にいても、キャンパスを歩いているだけでも、皆さんと異なる学問分野で働いている他の学部の学生に接することができるからです。また、他の学部でも自分の学部と同じように、学問が権威をもって研究され、講義されているといふアカデミックな空気を味わつてほしいからです。

ところで皆さんは「この難しい時代に学生生活を送ることになります。皆さん

が理想を求めれば求めるほど、混沌とした社会を憂い嘆く気持ちにかられ、一見無味乾燥な学問を学ぶことに生ぬるさを感じるかもしれません。また、生活の苦しみから勉学する余力を失い、とすれば投げやりになつて、時流に流され溺れることになるかも知れません。理想と現実とをいかに調和したらよいか、これは皆さんが真面目であればあるほど悩まされるであろうと思ひます。

皆さんにとって、大学で勉強する時間は限られています。この限られた時間で、学問に効果的に接することができるよう、大学はさまざまなサービスを行っています。それらをいかに活用するか否かは皆さん自身の主体的な姿勢にかかっています。

最後にこのように本日、栄えある入学式を迎えることができたのは、ご家族の温かい支えと協力があつたから、といふことを忘れなれてください。確かに皆さん自身が強い意志を持ち、たゆまぬ努力を続けた結果であることは言うまでもありませんが、ぜひとも、感謝の気持ちを抱き、それに応える努力をしてください。

4年間あるいは6年間には勉強が嫌になる時が来るかもしれません。しかし学生の本分は勉学であることを肝に銘じておいてください。

本日は本日もおめでとうございました。



福岡大学 学長
やました ひろき
工学博士 山下 宏幸

昭和37年宮崎大学工学部機械工学科卒業、41年福岡大学助手となり、43年講師、49年助教授、57年教授。昭和62年12月から平成5年11月まで学生部長、同年12月から11年11月まで工学部長を務め、同年12月学長に就任。平成15年12月学長に再任。学校法人福岡大学専務理事、同評議員。日本機械学会会員、日本伝熱学会会員、エネルギー・資源学会会員、日本熱物性学会会員、空気調和衛生工学会会員。主な社会活動に、福岡県産業・科学技術振興財団理事、九州・山口地域企業育成基金評議員、アジア太平洋センター理事、福岡県青少年育成県会議会長。専門は熱工学。著書に「工業熱力学(1)」(コロナ社)がある。65歳。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

こ れまでの精励努力が実を結び、本日めでたく入学式を迎えられ、感無量のものがあると思ひます。

そしてこの日まで皆さんの成長を支え、見守つてこられたご家族の皆様方にも心からお祝いを申し上げます。

皆さんは多くの志願者の中から厳しい選抜を経て入学された優秀な方々であります。

そのような無限の可能性を秘めた皆さんが学業に真摯に取り組み人として大いに成長されることを期待するものであります。

これから始まる大学生活は、「人生の基礎を築いていくかけがえない機会である」としても過言ではありません。まずは自分自身を見つめ直し、明確

な目標を掲げ、建学の精神にあります「積極進取」の気概を持つて、勉学や課外活動に励むとともに、豊かな教養の涵養にも努めていただきたいと思ひます。

さて、二十一世紀初頭を迎えた今日、科学技術が著しく発展を遂げ、社会や経済の複雑化が進行する中で、私たち人類は、国際紛争、環境汚染、資源枯渇など地球規模の課題に直面しております。

このためグローバルな視野から優れた専門能力と新たな発想を生かし、課題解決を図ることが出来る人材が強く求められています。

その点、本学は、教育・研究・医療の各分野で優れた教授陣と充実した施設、設備を備えた総合大学として、国内外

において幅広い活動を展開しております。ぜひ皆さんにはこのような本学のさまざまな知的機能を十分に活用し、輝ける明日を切り拓く確かな力を身に付け、時代や社会の厚い期待に応えていただきたいと願つております。

ところで本学は今年、創立七十周年の大きな節目を迎えました。

この七十年の歴史と伝統は約二十万人の卒業生一人ひとりのたゆまぬ努力によって築き上げられたものであります。皆さんには、そのような本学の歴史と伝統を受け継ぎ、さらに高めていただきたいと思ひます。

最後に、皆さんの大学生活の充実と今後のさらなる飛躍を祈念し、お祝いの挨拶といたします。



学校法人福岡大学
かわい たつお
理事長 川合 辰雄





開花した新入生たちを豊かな実へ導く福岡大学のブレン。
皆さんの積極的なアプローチを歓迎します。

WELCOME LINE UP



商学部長
川合 研教授



経済学部長
芹澤 数雄教授



法学部長
屋宮 憲夫教授



人文学部長
山中 博心教授



スポーツ科学部長
田口 正公教授



薬学部長
藤原 道弘教授



医学部長
満留 昭久教授



工学部長
大和 竹史教授



理学部長
脇田 久伸教授

咲きほこる花は美しい。
豊かに育つ実はもつと美しい。

実社会の嵐に立ち向かうために
自分自身をデザインしておこう

入学おめでとう。大学は入ることが目的ではなく、そこで何かをやるのが肝心なのです。それでは大学で何をやるべきなのか。人にもよりますが、大学に入るモチベーションが異なると、それはまるで異なる自分を高めるというところではなからうか。大学は自分自身をデザインする場なのです。そのような場として福岡大学は最適な環境を備えているものと断言することができます。
「文明の衝突」する時代にあつて、一切のリアルは役に立たないものと覚悟すべきです。混乱し、迷走する不透明な社会を乗り切るために、必要なのは精密な羅針盤です。自己の価値観の確立です。これこそが自分自身をデザインするといふ意味にはかなりませぬ。精密な羅針盤は必ずや現実の社会の嵐に立ち向かう有効な手段たり得るものと確信しております。



副学長
新関 輝夫教授
(法学部)

意志があれば何かが見つかる、
夢へと続く道が拓かれる

福岡大学は九州地区の私学の雄として、地域存在力・貢献力を備えたビッグユニバーシティです。また、文系理系各分野が多面的・異質的な知的リソースを有し、かつそれが体化して総合力となつていくリーディングユニバーシティでもあります。さらに福岡市南西部の七隈地区の広大なキャンパス空間に集積立地する福岡のシンボリック教育空間でもあります。
新入生の皆さんにはこのような特徴を持つ福岡大学で、知と心をハフランスよく学び、一つひとつ努力を積み上げてほしいと思います。それには強い意志が必要で、何かが見つかる、道が拓かれるのです。そしてその道の向こうには、あなたの個性を生かす夢や目的が待っています。



副学長
衛藤 卓也教授
(商学部)

自分の行動に責任を持つよう、
自分の責任を言葉で表現しよう

「大人」である基準はいろいろあると思いますが、私は、自分の行動に責任を持てる」ということを挙げたいと思います。もと具体的な言葉は、自分の行動に対し、自分の言葉で責任を持つ」ということにならざるやうか。今の若い人は、私は「こういうヒトだから…」などと自分のことなのに三人称的な言葉で話します。これは「自分の責任逃れの表現だ」と思つたのです。自分の責任について自分の言葉で話すには、確固たる動機や理由が必要になります。例えば何か失敗したとする。失敗はしようがありませんが、なぜ失敗したのが自分なのかが悪かったのか、突き詰めて考えなければ人を納得させる言葉は出てきません。きちんと自分の言葉で話せる人の言葉は信用できます。つまり、「大人」として信頼できるのです。新入生諸君、私と、「大人」の会話をしませんか。



副学長
菊池 昌弘教授
(医学部)

君が意欲を示せば
君の可能性はここで無限に開く

本学では、学生諸君の可能性を最大限に伸ばそうと、あらゆる分野で先生方が待ち構えています。ただ、大学は自主性を最も尊重する組織ですから、学生自身が自ら行動し、自ら意欲を示すことがなにより必要です。
分からないことや不安を覚えることに関しては、キャンパスで出会うすべての教職員に遠慮しないで、繰り返し質問することです。その質問の数だけ、諸君が成長することに繋がります。なお、先生方は



教務部長
酒井 健治郎教授
(人文学部)

大学に行こう
全てのきっかけはキャンパスにある

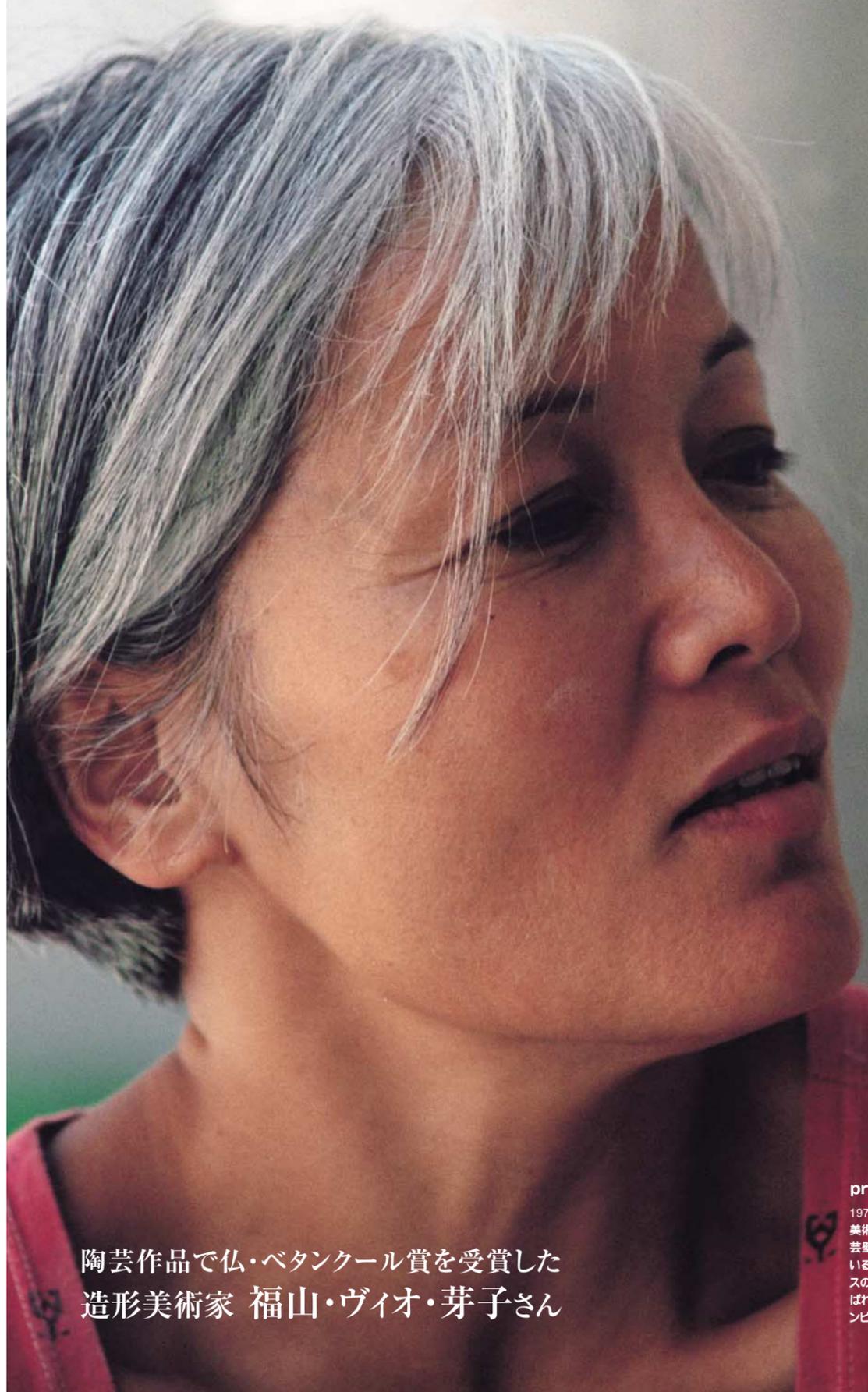
入学おめでとう。しかし大学に入ったという嬉しさだけの時期が過ぎ、「なんで大学生になったのだろう?」と考え始めた人がそろそろ出てきたのではと心配しています。そんな人にまず言いたいのは「大学に行こう」ということです。この広いキャンパスには、学友会活動とか同好会、愛好会など、何かの「きっかけ」が無数にあります。極端に言えば芝生に寝転んでいるだけでもいい。それが「きっかけ」で友人ができ、学生生活の意義や目標が見つかるこ



学生部長
中原 一教授
(スポーツ科学部)

ともあるのです。アルバイトや天神などの遊びも決して否定はしません。それは福大生でなくてもできることです。出席を取らない講義には出席、大学にもあまり来なければ何も見つかりませぬ。借りたノートの中に夢や目標はないのです。われわれ教職員も君たちの中へ飛び込んで行きませぬ。君たちもキャンパスを歩き回ってください。「なんで大学生になったのだろう?」答えは、きつと見つかります。

軽やかに蝶は飛び、
しなやかに海を渡った。



profile ふくやま・ヴィオ・はぎこ
1971年福岡大学工学部卒。1972年渡仏。ツール美術大学で陶芸を学ぶ。1979年以降、建築物の陶芸壁画などを手がけ、欧州各地で個展を開催している。2002年、優れた伝統工芸品に贈られるフランスのリリアンヌ・ベタンクール賞特別賞(2等賞)に選ばれ、作品がルーブル美術館に展示された。夫ジャンピエール氏との共同制作作品も多い。

陶芸作品で仏・ベタンクール賞を受賞した
造形美術家 福山・ヴィオ・芽子さん

1972年5月、フランスへ旅立つ。
その旅の重さを人に感じさせるのが嫌だった。ちょっとフランスに行ってくるね。まるで隣の友人宅を訪ねるように、福山・ヴィオ・芽子は旅立った。

このまま就職したくない。
私にも何かができるはずだから、
それを探しに行こう。

1年間の福岡大学でのバイトでためたお金がすべて。あと確かなものは何もない。だけに行こうと思った。美術がグラフィックデザインを学びたいという気持ちはある。最初アメリカにしようと思ったが、留学などしっかりとした目的がなければビザが下りなかった。じゃあヨーロッパにしよう。イタリア？あの国の男性は情熱的だから誘惑されると怖いなあ。お嬢さん育ちの彼女はそんなふうには考えない。じゃあフランスにしようか。大学時代の美術部の友人もいるし。よし、フランスに行こう。

どうせ外国になんか行けやしないと、高をくくっていた両親が慌てた。友人たちも驚いた。周りが混乱している間に、さっさと荷物をまとめ手続きをすませて、ぱっと日本を飛び立った。ツールという街で3カ月間語学の研修を受け、ふとした縁がきっかけでツール美術



1977年の芽子。デカルト高校に納めた作品の除幕式で、陶芸と出会って数年たち、この頃から作品が少しずつ認められるようになってきた。記者のインタビューを受ける際に情熱と若さがあふれている

アートと数学が好き。
どちらにも関連しそうなので
工学部建築学系科を選んだ。

大学に入学する。そして陶芸に出合った。土に触り始めたら、もう夢中でやめられない。人類の歴史は火と土から始まったのだとあらためて感じた。縄文土器からスベースヤトルのタイルまで原料は土なのだ。こんなにさまざまな可能性を秘めたものはない。当分はこれに「のめり込んで」みようかな。フランスへ飛び立った蝶は、陶芸という花に止まった。その時23歳。まだ「ヴィオ」が付いていない、福山芽子だった。

幼い頃から手で何かを作るのが好きだった。その頃のあこがれは大工さん。家を新築するために来ていた彼らのカンナ削りやくぎ打ちを飽きずに見ていた。「生け花の先生が家に教えに来ていたんです。その時切り捨てられる花を集めて、自分でオブジェ風に仕上げられるのも好きだったな」。成績は優秀で特に数学が得意だった。福岡市内の名門高校では演劇部に所属した。演技そのものよりも舞台美術に興味があったという。「大道具や小道具をもくもくと作っていました(笑)。進路希望は美術系大学。しかし親が反対する。医者だった父が跡を継いでくれることを望んでいたのだ。三姉妹のうち誰か一人でも…。だけど医者は嫌だった。美術系大学は親が反対。医者には自分がなりたくない。じゃあどうしようか。



1979年。友人が制作したフィクション・フィルムの装飾デザインを手がけた。もともと舞台美術に興味があり、高校時代は演劇部に所属していた。大学時代は美術部。若い時から磨かれた美意識は、彼女の陶芸作品を独特なものにしている

運命の人に出会う。
同じ陶芸作家のフランス人。
福山・ヴィオ・芽子になった。

いつの間にかフランスに渡って6年がたっていた。彼女はツール美術大学卒業後、地元で子どもたちに陶芸を教えながら制作を続けていた。そんなある日、本の電話が入る。

「僕の仕事を手伝ってくれないか」。声の主はジャンピエール。2年前にちょっとした縁を持った陶芸作家だった。彼はフランス各地で陶芸壁画などを制作していた。その一部を手伝ってくれと言った。彼女は彼の元に飛んだ。そして彼に魅かれた。彼女の言葉を借りれば「彼の「のめり込んだ」。やがて二人は結婚する。この結び付きが彼女の制作意欲を大きく刺激し、作品はより深いものとなった。欧州各地で個展を開くほどに評価は高まり、夫との共同制作の作品も注目を集めるようになった。1992年には宗像市に建設されたユータウンの公園に陶製彫刻を夫と共同制作するなど、日本からも依頼が来るようになった。充足した日々から生まれる質の高い作品たち。その声価を決定的にしたのは2002年のリリアンヌ・ベタンクール賞特別賞(2等賞)の受賞だった。



ツール美術大学時代から、地元の子どもたちに絵画や陶芸を教えていた。夫となるジャンピエール氏のなれ初めも、子どもたちに陶芸を教えるため、彼にアドバイスを受けたことからだ

OB・OGメッセージ
Message from old boys and old girls

夢をかなえるために

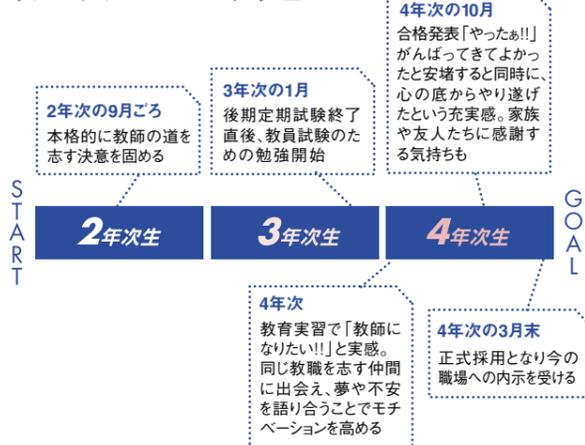


皆越 英子さん
理学部応用数学科 2003年卒業
熊本県矢部町立矢部中学校 教員(数学)

私は受かる!という自信をつけるためには勉強あるのみ

何人かの恩師にあこがれ、幼い頃から「絶対に熊本県の教員になるぞ!!」と心に決めていました。教員になるには勉強はもちろんですが情報収集も大事です。私は教員講座や教職課程資料室(A802)の先生方や先輩・仲間たち、インターネットや新聞、教職雑誌などあらゆるものから集めました。さらに、福岡県教育委員会のヤングアドバイザーとして、教育センターの適応指導教室にボランティアとして活動しました。今の時代は公務員や教員志望の方が増えており、競争率は年々厳しくなっています。しかし、自分は絶対に受かるんだという自信を持っていれば試験官は見抜いてくれますよ。その自信をつけるためにはやっぱり勉強でしょう。採用試験は自分自身との戦いです。途中多くの壁にぶつかり先が見えなくなる迷いの時期がありますが、自分をしっかりと持ち最後まであきらめずにやりぬくことが大事だと思います。これを読んでやってみるか!と思ったあなた。今すぐ行動を起こしましょう。『夢は見るものではなく、かなえるためにある!!』

私のサクセス・スケジュール



安河内 留美さん
人文学部歴史学科 1999年卒業
福岡市職員(上級職)発達教育センター勤務

失敗にめげず、それをエネルギーにしてがんばりました

教育委員会が障害児教育に関する事務をしています。具体的には特殊学級の設置や介助員の配置などです。機械でいうと小さな歯車ですね。大きな歯車を回すためにかなり稼働していると思うとやりがいを感じますね。市の職員になろうと思った理由は生まれ育った福岡が好きだったこと。何かこの街と人のために役に立ちたかったのです。試験前の半年間は1日6~8時間勉強していました。公務員試験は、実際大変ですが、高得点を取りさえすれば1次試験は必ず合格します。2次試験は面接などがありますが、公務員試験の勉強をしていると面接の機会がありませんので、採用などが似ている特殊法人などの採用試験を受けることをお勧めします。結構、どきどきして面白いですよ。卒業後、仕事に就かないという選択もあると思いますが、どういった仕事でも面白いことがあります。いろいろなことに挑戦し、視野を広げてがんばってください。

私のサクセス・スケジュール



1997年、ゲルマントの自宅アトリエにて。作品に向かう真摯な表情は若々しく、そして美しい



自分の作品の前に立つ芽子。1998年宗像市のニュータウンに制作した陶芸彫刻が、ごく最近心ない人のために一部が破壊された。「また作ればいい」と彼女は笑うが、このような恥ずべき行為を二度と起こさないように、誌面を借りて訴えたい

蝶はその軽やかでしゃやかな姿とは裏腹に、海峡を渡るほどの強靱な飛翔力を持つものもいるという。インタビュイーを終えて、ある言葉が脳裏に浮かび辞書でその意味を確認してみた。「しなやかか弾力があつて、そのものの

ベタンクール賞は「手のインテリジェンス」をテーマに、優れた伝統工芸作品に贈られる。2002年は陶芸作品が対象となり、彼女がシャンゼリゼの銀行の中庭につくった楽焼のオブジェ「めい想のテーブル」が建築部門で最高賞を得たのだ。受賞作品は大きすぎて移動できないため、彼女の他の作品がルーブル美術館に展示された。「それはもう嬉しかったけれど、その後のプレッシャーがね。私はそういう期待とかがダメなのよ。肩ひじはって生きるのが苦手の」。そう言って彼女は笑う。努力はするけど気負わない。夢中になるけどゆとりは忘れない。いつも自然体で余分な力を抜いて。そんなふうには彼女は生きてきた。それはこれからも変わらない。「今は陶芸をしているけど先はどうかわからないわよ。そうしたらまた『のめり込む』ものを探そう。アフリカなんかにも行ってみよう」。



2002年ベタンクール賞を受賞した楽焼のオブジェ「めい想のテーブル」。パリ・シャンゼリゼの銀行の中庭につくった作品



良き伴侶であり共同制作者のジャンピエール氏と

何でもできる時代なのに、何をしたいのかわからない。そんなジレンマに悩んでいる学生さんは多いと思います。そんな「途方に暮れた」状態だったら、思い切って今の場所から飛び立ってみませんか。外国に行くのがいいじゃない。初めての場所で自分自身を見つけてください。それが失敗に終わってもそれはそれでよいじゃありませんか。失敗は若い人の特権なんだから。これからの人生の、日常の半分は社会人としての義務を果たすために費やされます。それは大人なんだから当然です。だからこその後の半分は自由に、自分の夢や希望どおりに生きましょ。そのためには、まず「自分探し」が大切なんです。

本学美術部時代の共同作品は今もキャンパスに



ベタンクール賞受賞作品は大きすぎて移動できないため、彼女の他の作品がルーブル美術館に展示された。写真はその作品の中のひとつ

状態や動作がなめらかであること。軽やかにしなやかに蝶は遠く海を渡り、自らの花を見つけた。そしてそれでもなお、必要があればさらに飛び立とうとしている。福岡大学の精神を具現した誇るべき卒業生が、ここにもいると思った。

ところで
コラム
世界各国への留学を
夢見るあなたを応援します
国際教育プログラム

世界12カ国26の大学と交流協定を結び、ますます発展する福岡大学の国際教育プログラム。交換留学、海外研修、海外夏期英語研修などを通して、世界の多種多様な文化や価値観を理解しうる国際感覚を養い、幅広い視野をもって国際社会で活躍しうる人材育成の機会を提供しています。



留学生が同居している国際交流会館

学部長に質問!

学問のことからプライベートまで、さまざまな質問を投げ掛けて
 学部長の本音を聞いていくインタビュー特集。
 今回は人文学部長とスポーツ科学部長にアタック!
 両学部長ともに熱く語っていただきました。

好きな音楽(曲)は何ですか?



田口教授 山中教授

スポーツ科学部長 **田口 正公**教授

人文学部長 **山中 博心**教授

HIROSHI YAMANAKA

人文学部長 **山中 博心**教授

鹿児島大学
九州大学大学院
専門/ドイツ文学 54歳



福大生へのメッセージ

情報とメッセージをちゃんと区別してください。情報は誰にでも届きますけれども、メッセージは個人にしか行きません。情報過多の時代です。だからこそ自分に必要なメッセージだけを確実に受け止められる感性を磨いてほしいのです。

学部長にとって「人文学スポーツ科学」とは何ですか

山中 人の心の営みのすべて。
田口 スポーツの実践を科学する、そして科学を実践に活かすこと。

どんな人(性格)が「人文学スポーツ科学」に向いていると思われませんか

山中 答えを決めつけないで、相手とキャッチボールできる人。そうしながら自分の置かれてある状況を正確に把握できる人。
田口 チャレンジ精神を持っている人。探究心のある人。そして何よりそれを継続できる人です。

「人文学スポーツ科学」を学ぶのにいちばん大切なことは何ですか

山中 日本語で言えば「思考」。思つことがあつて、それを論理的に考えるということ。
田口 人の身体・心の動きに興味を持つことですね。スポーツには必ず相手がいいますから。

アノトリオが好きなんです。
田口 カントリーですね。アメリカ留学したときに聴いて感動しました。

学部長の思い出の映画は何ですか

山中 ビエトロジエリミ監督の『鉄道員』とか。
田口 『ウエストサイド物語』。あのダンスは立派なスポーツですよ。

もし二カ月休みが取れるとしたら何をなさいますか

山中 頭の中を整理してみたいですね(笑)。それかやはりドイツに行きたいな。
田口 ギリシャの古代オリンピック跡なんか行きたいな。

人生で最も影響を受けた書物は何ですか

山中 カフカ。『変身』とか『審判』『城』…。
田口 下村湖人の『次郎物語』。私の郷里の大先輩です。

学部長が最も尊敬する偉人を二人あげてください

山中 文学の世界ではやはりゲーテ。
田口 私の専門である水泳の元アメリカチームコーチ・カウンスル。初めて水泳の科学を集美大成した人です。

「人文学スポーツ科学」はどんなかたちで社会に貢献できると思われませんか

山中 自分と他者との、自分と組織との関係論、そういう接点というかが潤滑油としては人文学しかないかなと思います。
田口 スポーツの実践と科学は、これからの時代が望む、豊かで健康的なライフスタイルに貢献できると思います。

福岡大学人文学部スポーツ科学部のいちばんの特徴は何ですか

山中 「世界の在り方を多様に見せてくれる学部」だと思っています。

どんな女性がお好きですか。タイプでも具体的な名前(女優など)でも結構です

山中 NHKドラマ『三姉妹』の頃の藤村志保さん。

好きな食べ物は何ですか

山中 鍋物。揚げ物も好きですよ。お酒のアテ(肴)になるものばかり(笑)。
田口 運動したあとのビールはいいですね。これは食べ物じゃないか(笑)。

昔の福大生と今の福大生、変わったところはありますか

山中 昔は福大生ってすぐわかったけど、この頃はよその大学生と区別がつかなくなったなあ。
田口 おとなしくて素直になったなあ。昔はとんでもないヤンチャ坊主がいたけどね。



MASAHIRO TAGUCHI

スポーツ科学部長 **田口 正公**教授

東京教育大学
専門/スポーツバイオ
メカニクス 60歳

福大生へのメッセージ

夢を持ってそれにチャレンジしてほしいなと思います。今は夢を持っている学生が少ないような気がする。何か夢を持って、その夢のためにまず一番近いところに目標をつくり、その目標へ進んでいく。そして次へ。夢の実現への過程はその繰り返しなんです。

【スポーツ科学部】
 多彩な
 スポーツ関連資格

スポーツプログラマー、スポーツトレーナー、コーチ、アスレチックトレーナー、スポーツ指導員、レクリエーションインストラクターなどの資格取得の際、必要な科目を修得していると、学科や試験の免除が受けられます。

【人文学部】
 航空業界に
 人気の学部

人文学部から、エアラインのキャビンアテンダントやグランドスタッフなど航空業界に就職する人が増えています。やはりグローバルなコミュニケーション能力が業界に必要とされているのでしょうか。学部でも航空業界のOB・OGを招いての「エアラインセミナー」などで、進路をサポートしています。

インタビューを終えて

二人のお人柄が、そのまま人文学部・スポーツ科学部の特徴になっているようなそんな気がしました。学部の魅力を作るのは、そこに集まる人ということでしょうか。さて、今度はこのインタビューを読んだ君が、両学部長に直接アタックしてください。「学部長に質問!」その質問が有意義なものであれば、きっと熱心に答えていただけるはずです。

学部長が好きな音楽(曲)は何ですか
山中 ジャズ。オスカー・ピーターソンとか、ピ

田口 やはり「実践科学」ですね。それから学生一人ひとりが自分の専門種目を持っていることかな。自分自身が実践科学を体感できる。

学部長が試験の判定に留意している点はありますか
山中 自分の思っていることと題材として出した資料をうまくつないでいるかですね。つまり思考力。

田口 自分の考えで、自分の文章で書いているかどうかですね。

学部長はどんな学生が好きですか
山中 素直に何かを感じられる人。

田口 明るい人。そして積極的な人。

学部長の趣味は何ですか
山中 碁と犬ですね。犬は人間と違って素朴でいい(笑)。

田口 スポーツ以外では絵画鑑賞。旅先ではよく美術館へ行きます。

学部長が好きなスポーツは何ですか
山中 テニス。45歳から始めた遅咲きです。

田口 水泳以外のゴルフ、スキーかな。

学部長は休みの日、どんなことをしていますか
山中 午前中囲碁をして午後はテニス。夕方からは読書が料理。

田口 家のことを何かごちゃごちゃ、あとは庭いじりがな。じっとしていることが苦手ですね(笑)。

学部長の座右の銘を教えてください
山中 「あおいくま」「あせるな、おどろかないばるな、くさるな、まけるな」ですね。「ロクケ」というラテン語が言っていました(笑)。

田口 曹源(滴水)「そうげんのいつてきすじ」。要するに「一滴の水も大河となって人々を潤していく」という、人間の無限の可能性を示す禅語です。

私たちの大学をオンリーワンにしているのは、総合大学としての連帯や連携とともに各学部・学科独自の教育です。このシリーズでは、そんな特色ある教育を紹介していきます。

学生たちの資質を伸ばす 福大ならではの個性を磨く



整備作業風景。作業は毎週土・日を中心に毎回10人前後が参加して行われる

歴史学科考古学研究室は、古墳関係資料・日韓交渉考古学資料、その他の写真資料等を約2万点収集しています。いずれも大変に貴重な大学の財産ですが、あまりにも膨大で多岐にわたるため完全に整理されているとは言い難い状態です。そこで武末純教授の指導のもと、平成15年度から学生・院生によって資料の整備が行われています。資料を整備して番号を付け、台帳を備えることで万全の管理ができることもありますが、何より大きいのは学生・院生のレベルアップへの効果です。学生・院生はこの作業を行うことで実測・写真撮影・報告書レイアウトの技術や、関連資料の調査検索能力・学界での研究の現状把握・文章作成能力・計画立案および遂行能力の修得が期待されます。これらの能力は考古学研究には欠かせない能力ばかりなので、また、この作業により報告書が刊行されることにより、これまで死蔵に近かった資料が学界で活用され、さらにそれらの成果を一般市民に提供することで「大学の知」を地域社会に役立てることができ、また考古学全体のすそ野を広げることが期待されています。

人文学部 歴史学科

学部生・大学院生による 考古学資料の整備・公開



学生たちの「自ら学ぶ」意欲を刺激する点でも、参加型教育の意義は大きいと語る武末教授



学生参画型の授業風景。ティーチングアシスタントがマンツーマンで指導する

コンピュータの進歩により、化学分野における研究ではコンピュータシミュレーション（計算機実験）が複雑な物質の構造や機能発現機構の解明に大きな役割を果たすようになってきました。にもかかわらず大学の学部教育で行われるコンピュータ利用は実験データの整理・実験等の補助手段として使われるにすぎず、化学の最先端領域と学生の受ける教育には大きな隔たりがあります。そこで化学科では山口敏男教授の主導により、学生一人ひとりがコンピュータシミュレーションにより、複雑な先端物質の構造と機能発現機構をビジュアルで体験し理解できる教育を実施しています。特徴としては学生個人がシミュレーションを行う学生参画型であるため、学生の理解度に合わせ、授業を進めることができるなどが挙げられます。また、ティーチングアシスタント（指導助手）を採用し、個人の学習進度に応じた、きめ細かな指導を行っています。この教育により、学生の学習意欲を高め、理解度が深まることが期待されています。さらに化学の最先端領域の研究に触れることで、有望な研究者としての資質を芽生えさせる可能性もあります。

理学部 化学科

コンピュータシミュレーションによる 学生参画型の 先端化学教育

リアルなビジュアルを体験することで化学への意識が高まり発想が広がると山口教授



理学部 応用物理学科

学際領域の萌芽的研究を 実体験させる教育

従来の物理系の学生実験は、実験技術の習得や講義内容を深めるという目的からは、中・



ミクロな文字。学生のアイデアによる成果



モニターを見ながら、教授に自らの研究テーマの説明をする大学院生

下年次生にとって不可欠であることは言うまでもありませんが、技術・研究者としての人材を育成・錬磨するという観点からは不十分です。そこで宮川賢治教授の指導のもと、「生体機能に習った自己制御・自己組織化する材料システムの創製」という従来の材料科学の分野にパラダイムの変換を促すような萌芽的研究に学生を参加させ、黎明期の研究の醍醐味を実体験させることにより、「させられる学び」から「する学び」への変化を引き出す試みが行われています。例えば、昨年の4年次生による「光放射圧を用いたスピニングモーター」の研究では、次世代の光モーターの原理に結びつく重要な成果を挙げました。個性を発揮する場があれば、学生は自ずと積極的に学ぶという顕著な例です。このような過程を通して技術・研究者に必要な企画・実行・総括といった能力を養うことができ、広範囲の知識・技術を習得させることが可能になります。

実験教育は「させられる学び」から「する学び」への変化に大きな効果があると宮川教授



福岡大学研究推進部の研究を紹介するシリーズ。今回は「SiPモジュール設計製造技術の確立」と「使用済み紙おむつの再利用および再資源化システムに関する研究開発」を紹介します。

使用済み紙おむつの再利用および再資源化システムに関する研究開発

SiPモジュール設計製造技術の確立

使用済み紙おむつを無駄なく再利用する
本研究は「使用済み紙おむつの再資源化」を目指し、ポリマーとパルプの分離能力向上
再生パルプおよびポリマーの有効利用

環境にやさしい資源循環型社会づくりのために
ごみ処理問題は21世紀において最大のテーマのひとつであり、今後はワンウェイでなくリサイクルを原則とした「環境にやさしい資源循環型社会」を目指す必要があります。一方、日本は本格的な高齢者社会となり、大人用紙おむつの使用量は確実に増加すると考えられます。紙おむつにはリサイクル可能な上質のパルプが使用されていますが、大人用の使用済み紙おむつはその大部分が焼却処分されており、リサイクルに至っていないのが現状です。本研究は紙おむつの脱炭素処分を目指し、資源循環型システムの確立を目的に行われています。



研究代表者 松藤 康司(工学部教授)
1971年 福岡大学薬学部卒業
1997年から 福岡大学工学部教授
専門/土木工学・環境工学・産業工学

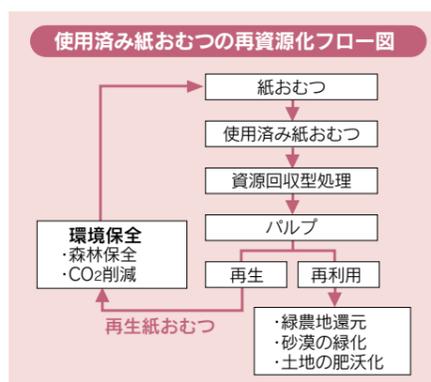
再生紙おむつ製品化へ1日に約50本の木を守る
使用済み紙おむつをこのシステムによって処理し回収した上質パルプはメーカーによって製品化される。わが国最初の工場は「大牟田エコタウン」において本年の8月頃から本稼動する予定です。本研究は福岡県産業界・科学技術振興財団・産学官協同開発事業の一環として平成12年度から進められました。福岡大学・福岡県保健環境研究所、そして民間メーカーの共同によって実用化への道が開かれたのです。大牟田工場では1日10万枚の使用済み紙おむつを処理し、紙おむつ5万枚分の再生パルプを得ることができます。これは木に換算すると約50本分、1年で約18,000本分の木を伐採から守ることになります。本研究が資源循環型社会づくりのためのモデルケースとして話題になり、環境保全意識の高まりにつながることが願っています。

シリコンアイランド九州隆盛のため産学官が協同
本研究は、薄化シリコンチップ複数個を実装し受動素子を内蔵したモジュール(部品)製作のための設計ツールおよびモジュール特性を評価するシステムの開発。それによって大規模SOC(System on a Chip)と同じ機能を持つ超小型SiP(System in a Package)モジュールを、SOC開発期間の1/50で製造できる技術の確立を目指しています。1つのシリコン基板上に大規模LSIを製造するためには、設計から始めて1年以上の時間が必要です。このSOC技術に対して、複数個のLSIをインターポーザと呼ばれる基板の上に複数個実装し小型モジュールのシステムを構築するSiP技術は、納期が短く低価格であるという点で優れています。しかし現状ではSiPには、熱特性・高周波特性などをシミュレーションできる基板設計ツールがなく、具体的な特性を評価して再度設計し直すことがしばしば必要となっています。本研究ではこのモジュール設計ツールを開発し、現在基板設計・製造にかかる時間を短縮することを目指しています。そうすることによってSOC開発期間の1/50で製造できるわけです。設計には実際にモジュールを試作し、試作時の物理パラメータを測定する必要があります。また、高周波特性を調べ最終的にシステムの仕様を満たしていることを確認することも必要です。そこで本研究ではソフトウェアの開発だけでなく小型のモジュール試作装置および特性評価装置も開発しています。得られたデータを設計ツールに加えることによって、一度の設計で最終基板の設計を終え、モジュール試作品の供給と並行して量産に入ることによって、短い納期でSiPモジュール製造・販売を可能にするシステム技術の確立する計画です。

○処理過程で発生する汚泥・残りの有効利用などを目的に進められました。そして開発されたのがこのシステムです。まず洗浄水によって使用済み紙おむつ中のパルプ・ポリマー・ピエールを分離し、尿は汚水処理を行い再び洗浄水として使用します。また上質パルプは回収されて再生紙おむつとなり、再生できない廃パルプやポリマーは緑農地還元などの土木資材として再利用されること。さらにシステムの過程で分離される廃プラスチックは現状では熱回収という方法を取っていますが、将来的には生分解性プラスチックへ転換することにより、より循環的なシステムとなることを想定しています。



本研究は限りある資源である木を守るという目的から、「ラブ・フォレストプロジェクト」と名付けられている



文部科学省知的クラスター創成事業のプロジェクトとして
1960年代からの歴史を持つ九州の半導体産業。その当初は大手企業がリードするものでした。しかし現在は、中小企業やベンチャー企業の挑戦を原動力として、大手企業・大学・行政や金融・商社等のサービスセクターがそのネットワークを強め、半導体に関する幅広いクラスター(産業集積)を形成しようとしています。本研究は、このような状況を受けた文部科学省の知的クラスター創成事業のプロジェクトとして始められました。

計から始めて1年以上の時間が必要です。このSOC技術に対して、複数個のLSIをインターポーザと呼ばれる基板の上に複数個実装し小型モジュールのシステムを構築するSiP技術は、納期が短く低価格であるという点で優れています。しかし現状ではSiPには、熱特性・高周波特性などをシミュレーションできる基板設計ツールがなく、具体的な特性を評価して再度設計し直すことがしばしば必要となっています。本研究ではこのモジュール設計ツールを開発し、現在基板設計・製造にかかる時間を短縮することを目指しています。そうすることによってSOC開発期間の1/50で製造できるわけです。設計には実際にモジュールを試作し、試作時の物理パラメータを測定する必要があります。また、高周波特性を調べ最終的にシステムの仕様を満たしていることを確認することも必要です。そこで本研究ではソフトウェアの開発だけでなく小型のモジュール試作装置および特性評価装置も開発しています。得られたデータを設計ツールに加えることによって、一度の設計で最終基板の設計を終え、モジュール試作品の供給と並行して量産に入ることによって、短い納期でSiPモジュール製造・販売を可能にするシステム技術の確立する計画です。



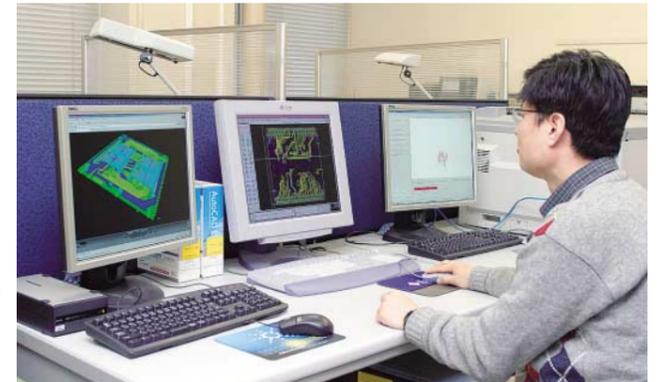
研究代表者 友景 肇(工学部教授)
1982年 九州大学大学院修士
1992年から 福岡大学工学部教授
専門/半導体工学・電子工学・電子物理

月に1回グループミーティングを開催。研究状況を報告するとともに、企業の方の現場の意見やアドバイスを聞き、より実戦的な研究を進める

この1年でSiPのCAD設計技術を確立、さらにEDAツールのバージョン1を完成させるなど成果を挙げている



月に1回グループミーティングを開催。研究状況を報告するとともに、企業の方の現場の意見やアドバイスを聞き、より実戦的な研究を進める



この1年でSiPのCAD設計技術を確立、さらにEDAツールのバージョン1を完成させるなど成果を挙げている



センターでは8人の相談員(専任職員)が就職に関することはもちろん、進路選択や将来に向けての勉強の仕方など学生一人ひとりの相談に応じています。また、パソコンや資料などで就職に関する最新の情報を提供しています。

「自分探し」と「自己実現」を支援

就職・進路支援センターとは端的に言えば、学部と連携しながら学生の「自分探し」「自己実現」のために、自分がどんな人間なのかを知り、自分の夢や希望を実現することを支援するセンターです。専任職員、キャリアアカウンセラー、進路相談員がいつでも個別相談に応じ、一人ひとりに細やかに対応するように心掛けています。また、各種就職支援行事の開催や求人情報の提供から履歴書添削や面接指導まで具体的な指導も行っています。

学生のキャリアを支援

キャリア支援の具体策として3年次生をメインに、基本的な就職活動の流れや就職に対する意識付け、自己分析をさせるためにさまざまな説明会や模擬テスト、対策講座などを下表のとおり実施しています。1・2年次生に対しては、まず目的を持って学生生活を送ることの重要性を学ぶためのガイダンス、そして就職活動中の4年次生にはさらに支援体制をきめ細かにしたフォローアップガイダンスを開催しています。また、実際の就業体験をするインターンシップにも力を入れています。さらに各学部で開催するセミナーの共催など学部との連携も行っています。

資格取得を支援

資格は就職に有利になる場合もありますが、それ以上に卒業後のキャリアアップに大いに役立ち、自分自身の能力アップや付加価値を高める大きな財産になります。就職・進路支援センターではエクステンションセンターと連携して、各種資格取得や就職対策を目的としたサポートを行っています。

個別指導も充実

全学年を対象に就職に関することはもちろん、進路選択や将来に向けての勉強の仕方などについて、学生一人ひとりの相談に応じています。8人の相談員(専任職員)のほか、キャリアアカウンセラー(キャリアアカウンセリング有資格者)や進路相談員(企業の人事・採用経験者)が常駐しさまざまな角度から適切なアドバイスを行っています。また、進路が決定した4年次生を学生アドバイザーとして配置しています。

情報提供も速やかにこまやかに

センター主催の行事案内やお知らせ、会社説明会・求人情報などはセンターのホームページで速やかに提供すると同時に、掲示でも行い、デジタル、アナログ両方に対応しています。企業の求人情報や説明会情報、卒業生の情報をデータベース化した「就職情報システム」を構築し最新の情報を提供しています。また、求人情報、会社説明会情報などはファイルし、すぐに閲覧できるようにしています。



今年度からは1年次生対象のガイダンスを開催

企業の採用活動は年々早期化しており、もはや3年次生からの意識付けでは遅いと思われる現状です。そこで、センターでは1年次生を対象に実社会に必要なコミュニケーション能力やビジネスマナー、常識など社会人としてのスキルを身に付ける必要性を強く意識付けするためにキャリアガイダンスを開催します。合計3回開催し、学生一人ひとりが学生生活に対して具体的な目標を設定し、考えてもらうことにより職業意識の向上を促します。



6つのサポートセンター 就職・進路支援センター編

皆さんが将来を真剣に考えることができるように

学生の皆さんが入学から卒業するまで、さまざまな情報提供を基本に一人ひとりをサポートする6つのセンター。教育体制の一環として整備しているこのセンターを今回から毎号紹介していきます。第1回目は就職・進路支援センターです。

平成16年度 就職支援行事

I. 3・4年次生対象行事

項目	開催月	行事名	
就職説明会	6月	第1回就職説明会(就職基礎ガイダンス)	
	7月	第1回キャリアデザイン講座	
	10月	第2回就職説明会(就職応用ガイダンス)	
	11月	第2回キャリアデザイン講座	
	12月	第3回就職説明会(就職実践ガイダンス)	
	11月・12月	就職実践マナーセミナー	
	5月	フォローアップガイダンス	
	6・10月	留学生対象就職説明会	
	テスト	6月	第1回就職模擬テスト(一般常識・職業適性)
		10月	第2回就職模擬テスト(自己表現)
12月		第3回就職模擬テスト(論・作文)	
対策講座	10月・11月	SPI対策講座(ガイダンス・模擬テスト・特別講義)	
	6月	第1回論・作文対策講座	
	10月	第2回論・作文対策講座	
採用説明会	2月	第3回論・作文対策講座	
	10月・11月	業界別セミナー	
	4月～12月	学内個別企業説明会	
その他	3月	学内合同企業説明会	
	10月	就職情報システム利用講習会	
	随時	実践模擬面接	

II. 1・2年次生対象行事

項目	開催月	行事名
ガイダンス	4月～6月	1年次生キャリアデザイン養成講座
	7月	1・2年次生進路ガイダンス
III. 全学年次生対象行事		
項目	開催月	行事名
適職診断テスト	10月・11月	フレガイダンス・活用セミナー
インターンシップ	5月・11月	募集説明会および体験報告会(夏季・春季)
	7月・12月	オリエンテーション(夏季・春季)
	8月・1月	事前研修会(夏季・春季)
	8月～9月・2月～3月	夏季・春季インターンシップ(就業体験)
	9月・4月	事後研修会(夏季・春季)

IV. 学部主催行事

主催学部	開催月	行事名
商学部	5月・12月	公認会計士・税理士 資格比較セミナー
人文学部	6月	第1回就職支援講演会*以後も開催予定あり
	7月・11月	エアラインセミナー
法・経済・商学部	7月	スペシャリスト支援ガイダンス

V. その他の支援業務

期間	業務
年間	キャリアアカウンセリング
年間	進路相談員
10月～3月	学生アドバイザー
年間	就職サブ・ゼミナール

キャリアアカウンセラー

キャリアアカウンセリングの資格を持った経験豊富な相談員が、日本産業カウンセラー協会から派遣されています。その目的は以下のとおり。就職・進路相談に関する個別面談をおして、学生に自分の個性や志向に気付かせ意欲を持って進路選択や就職活動を決定できるようにサポートします。学生個人の能力、興味、価値観、パーソナリティなどの特性を専門的観点から分析し、センターが行う進路指導に役立てます。

就職・進路指導の環として履歴書やエントリーシートの添削、模擬面接などを行います。



進路相談員

企業の人事・採用経験者が常駐し就職内定を勝ちとるため実務的でアグレッシブなアドバイスを随時行っています。

相談を受けた学生からは「気が楽になった」「仕事をするといいことイメージができた」「自信が持てるようになった」など、満足感の強いコメントが聞かれ、ほとんどの学生が次の相談を希望しています。



学生アドバイザー

進路が決定した4年次生を学生アドバイザーとして配置。まだ記憶に新しい就職活動体験を基本に、学生の視点からリアルなアドバイスをしています。



【相談日】10月から開始予定

皆さんへのメッセージ

このセンターを学生談話室のように使ってほしい

多い時は一日100人ほどが相談に訪れる就職・進路支援センター。これでもまだ私は不満です。もっともっと利用してほしい。1年次生の時から、クラブの部室や談話室のように気軽に立ち寄ってほしいと思っています。情報入手やパソコン利用だけでもいいんです。早い時期から利用すれば職員との交流も増え、それだけ有意義な情報やアドバイスが受けられます。相談を終えた学生の表情をみていると、ある学生は安心したような、ある学生は自信が出たような表情を浮かべています。私はそれを見るたびに、できるだけ多くの学生がこんなふうになればいいと思うのです。

就職・進路支援センター事務室長 立花 時弘



寄付申込者ご芳名一覧 第3回

福岡大学創立70周年・薬学部開設45周年記念薬学部棟建設募金の趣旨にご賛同いただいた皆さま方から、任意のご寄付にもかかわらず、多大のご協力が寄せられておりますことに深く感謝しております。

ここに、ご寄付をお申し込みいただきました方々のご芳名を別記要領のとおり掲載させていただきます。なお、本募金は平成17年2月末まで実施いたしておりますので、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



薬学部棟(仮称)建設進行状況(3月現在)

掲載要領

掲載は在学生父母・卒業生・法人・理事(学外)・職員(退職者を含む)・その他(篤志家)という募集対象区分ごと(寄付申込金の多い順、およびご芳名は五十音順)に毎号数頁の範囲でさせていただきます。

なお、分割での払い込みの方は、期間内に「寄付をいただいた金額のみを掲載(ご芳名の上部に印を付しております。いたしております)」。本号には、平成十五年十二月十三日から平成十六年三月十三日までの寄付申込者のご芳名を掲載させていただきます。

なお、本募金活動終了後、最終寄付者名簿を作成し、公表する予定です。

寄付金の減免措置(法人の場合)

指定寄付金(全額が損金にできる寄付金)として減免措置を受ける場合は、日本私立学校振興・共済事業団に「受配者指定寄付金」の承認が必要となりますが、平成十五年十二月一日

寄付申込状況

(平成16年3月13日現在)

区分	件数	金額(円)
在学生父母	294 (42)	4,590,000 (790,000)
卒業生	419 (86)	15,460,000 (3,590,000)
法人	42 (38)	19,730,000 (19,170,000)
理事(学外)	1 (1)	1,000,000 (1,000,000)
職員(退職者を含む)	202 (72)	21,285,000 (7,247,000)
その他(篤志家)	0 (0)	0 (0)
合計	958 (239)	62,065,000 (31,797,000)

注()内の数値は今回(第3回)分を示す。

に取得しています。なお、寄付申込書の提出、およびご寄付の受け付けは同年十二月三日から開始しています。

卒業生	金額	氏名
四十万円	須本 國弘	様
三十万円	木原三千代	様
十万円	牛島 逸子	様
七万円	内村 富男	様
五万円	石松 三治	様
五万円	石松 俊毅	様
五万円	上野久美子	様
五万円	梅田 賢太	様
五万円	大坪 重孝	様
五万円	大坪 和子	様
五万円	緒方憲太郎	様
五万円	木原 太郎	様
五万円	楠田 雅博	様
五万円	桑原 洋	様
五万円	小嶋 利久	様
五万円	坂本 恵子	様
五万円	澤井 純清	様

金額	氏名
四万円	杉本 和正
四万円	早田喜美子
三万円	井原 俊一
三万円	高田 礼子
三万円	牛嶋 良雄
三万円	高田 礼子
三万円	渡邊 兼行
三万円	山下 俊一
三万円	山崎 直子
三万円	宮崎 一郎
三万円	宮崎伊津子
三万円	三島 亮子
三万円	堀 民子
三万円	古田 耕平
三万円	藤井 広志
三万円	馬場 礼子
三万円	中村 信子
三万円	建井 和子
三万円	高山 公子
三万円	早田喜美子
三万円	江川 千穂
三万円	大宅 治
三万円	佐藤 博
三万円	佐藤由紀子
三万円	澁谷 涉
三万円	正山 さつき
三万円	谷口 浩司
三万円	半田 浩一
三万円	道永 和美
三万円	宮原千壽子
三万円	吉川 哲也
三万円	伊藤 晶子
三万円	梅香家佳彦
三万円	久保 孝文
三万円	藏内 浩一
三万円	櫻井 千城
三万円	清水 貞宏
三万円	武市 理恵
三万円	田中 信弘
三万円	野本 雅子
三万円	原 寛

理事(学外)	金額	氏名
百万円	川合 辰雄	様
五十万円	宮野 成一	様
五十万円	片岡 泰文	様
五十万円	藤原 道弘	様
三十万円	鹿志毛信広	様
三十万円	後藤 良宣	様
三十万円	藤岡 稔大	様

金額	氏名
二十三万円	小野 信文
二十三万円	高野 行夫
二十二万円	山口 政俊
二十一万円	山方 健司
二十万円	中島 幸彦
十七万七千円	金城 順英
十六万円	高田 二郎
十五万円	見明 史雄
十五万円	石田 隆
十五万円	江川 孝
十二万円	富岡 幸彦
十二万円	阿部フミ子
十一万円	新矢 時寛
十一万円	安藝 初美
十万円	井上 安孝
十万円	今野 孝
十万円	遠藤 信廣
十万円	喜多 秀樹
十万円	古賀 敬史
十万円	小柳 悟
十万円	恒松 英明
十万円	松本 常隆
十万円	湯川 美穂
十万円	横竹 正俊
七万円	花園 弘志
七万円	丸岡 博
七万円	山内 淳史
六万円	能田 均
六万円	山内 恵太

金額	氏名
五万円	池上龍太郎
五万円	稲元 萌
五万円	岩瀬由紀子
五万円	古賀 和廣
五万円	中野耕太郎
五万円	本田 知宏
五万円	満留 昭久
五万円	三村 正彦
四万円	濱合 敬史
四万円	濱田 浩
四万円	安部 清秀
四万円	坂本 寛行
四万円	高木 秀人
四万円	都地 正範
四万円	辻 義人
四万円	中内 克昌
四万円	中村芳比古
四万円	深水 一敏
四万円	福田 健
四万円	益満 寛明
四万円	松本 優子
四万円	宮本 徳夫
三万円	甲斐麻美子
三万円	小柳 利行
三万円	竹下 博幸
三万円	立石 義人
三万円	寺本 芳満
三万円	平田 元祐
三万円	本田 順子
三万円	本田 稔
二万円	井手 俊輔
二万円	岡 忠義
二万円	尾崎 弘明
二万円	川口 修一
二万円	黒木 辰男
二万円	末次 眞一
二万円	三吉 眞一

ご父母

金額	氏名
三万円	サンケイ化学薬品株(スライナ上株)
三万円	(株)富士ハイオネックス
二万円	(株)浅島龍文堂
二万円	日商エレクトロクス株
五万円	有近 猛
五万円	牛尾 敏彦
五万円	我那覇好良
五万円	古賀 康博
五万円	古本 正男
五万円	諸木 浩一
五万円	山口 孝裕
三万円	入江 博文
三万円	東 一雄
三万円	松永 節広
二万円	坂本 広徳
二万円	末石 裕司
二万円	本村 正美
二万円	石橋 利直
二万円	井尻 淳郎
二万円	今橋 達也
二万円	大保 義人
二万円	尾崎 弘明
二万円	小野瀬美之
二万円	齋藤 武雄
二万円	佐藤 貴崇
二万円	首藤 修一
二万円	薛 義光
二万円	早田 昭彦
二万円	出水 賢一
二万円	野田 豊国
二万円	英 昭一
二万円	原 正利

- 3月** 一般入試【後期日程】(7日)
 一般入試【後期日程】合格発表(16日)
 大学院学位記授与式(22日)
 卒業式(23日)
 在学生成績発表(25・26日)



- 4月** 学年始め(1日)
 入学式(学部2日、大学院3日)
 1年次生教務部関係ガイダンス(3日)
 1年次生学部指導懇談会(3日～8日)
 1年次生科目登録(5日)
 クラブ勧誘週間(7日～16日)
 定期健康診断(12日～6月18日)
 前期授業開始(9日)



- 九州六大学野球春季リーグ戦
 対西南学院大学応援合戦(18日)
 新入生歓迎ピクニック(18日)
 海外研修生募集(韓国)・
 海外夏期英語研修生募集(英国)(19日～30日)
 第二部春季レクリエーション(25日)

- 5月** 創立記念日(21日・授業日) 創立70周年

- 6月** 交換留学生募集(7日～21日)
 特待生表彰式(中旬)



- 父母懇談会(12日～7月3日)
※医学部は別日程
 学術文化発表週間(21日～26日)
 野外実習教育(キャンプ1泊2日)



- 7月** 前期授業終了(22日)
 前期定期試験(23日～8月3日)

- 8月** 夏季休業(4日～9月12日)



福岡大学卒業式

行動力とをもって、希望に満ちた明るい未来の構築に向け、果敢に取り組んでいただきたいと思えます」とはなむけの言葉を贈りました。

さらに、井口有信会理事長が福岡大学同窓会を代表して「今年福岡大学は創立70周年を迎え、皆さんを加えた卒業生はおよそ19万7千人に達しました。社団法人有信会は東京から沖縄まで60の地域支部と41の職域支部を展開しております。そして今年、社団法人化50周年を迎えます。会員相互の親睦を図ると同時に、同窓会としては全国でも数少ない公益法人でもあります。また、新会員の皆さんの3分の1は女性であります。有信会ではレディースクラブが組織され、活発に活動しております。女性新会員のご参加をお待ちしています」とお祝いと歓迎の言葉を述べました。

このあと、在学生総代・小野陽菜さん(学友会総務委員長 法学部3年)の送辞を受け、卒業生総代・内田裕美さん(薬学部薬学科)が「今まで、私達に温かくご指導してくださった諸先生方、ならびに学校関係者の皆さまに、深く感謝し、心からお礼申し上げます。そして、私達を大切に育て、見守ってくれた両親をはじめ家族にも、この場をお借りして、感謝の意を表します。私達は、皆さまの期待に応えられるよう、本学で培った幅広い教養と良識を持って、それぞれの個性を大切にしながら、自分たちの未来を切り開いていきたいと思います」と答辞を述べ、校歌斉唱の後、式は終了しました。



卒業

4,420人の
旅立ちの時

平成15年度福岡大学卒業式が、3月23日に挙行されました。今年度の卒業生は4,420人。さらに大学院、附属大濠高校・中学校、附属看護専門学校からも、それぞれステップアップを目指し旅立って行きました。たとえ苦しい時があっても、学生時代の思い出と知識をエネルギーにして乗り越えてください。前途洋々、皆さんの可能性は無限です。

平成15年度卒業式は、3月23日午前10時から学部卒業生をはじめ、父母、来賓、本学関係者など約7,200人が出席し、第二記念会堂で挙行されました。

式典序曲演奏、開式、国歌斉唱のあと、山下学長が各学部の総代10人に学士の学位記を授与し、式辞で「卒業にあたり、激励の言葉を二つ贈ります。その一つは『迷いと悩みという悪魔のとりこにならない』ということです。『迷いと悩み』は人生につきものです。誰にもそれはあります。ですから、どんなに苦しくても自分だけが不幸と悲観せず、希望を持ってそれを解決してみせるという勇気のある人になってください。二つ目は『夢を実現する可能性は自分自身で握っている』ということです。それぞれ自分の夢・目標を持っていることと思います。その夢を夢で終わらせず、現実のものに変える力を、皆さんは持っていることに気付いていただきたいのです。そして、その可能性を十分に開花させるのは、やはり自分の努力であり、誠意を持って物事に対処する精神力です」と述べました。

続いて、川合理事長が挨拶で「今日、科学技術が急速な進歩を遂げ、社会や経済の複雑化が進行する中で、われわれ人類は、環境破壊、資源枯渇など地球規模の課題に直面しております。このため、グローバルな視野から課題解決を図ることができ、高い見識と優れた専門能力を持った人材が求められています。その点、皆さんには、この総合大学で、多くの教授や友人と切磋琢磨しながら培ってきた豊かな人間性と専門知識があります。どうか、皆さんのその総合力と失敗を恐れな



附属看護専門学校 卒業式
 (3月2日 有朋会館大ホール)卒業生数37人



附属大濠中学校 修了式
 (3月15日 大濠高校第一体育館)卒業生数84人



附属大濠高等学校 卒業式
 (3月1日 大濠高校第一体育館)卒業生数667人



福岡大学大学院 学位記授与式
 (3月22日 有朋会館大ホール)修了者数266人、満期退学者15人

学食制覇

第1食堂

これがイキ押し!

一番人気



★ランチセット 370円

おすすめメニュー ★なべてり丼…………… 300円



【営業時間】
月～金 8:40～21:30
土 9:00～21:30

Message
主菜・副菜・小鉢と自分の好みで選べるランチセットは370円! 丼物も大人気。栄養バランスとボリューム、もちろん美味しさもグッド。夜9時半まで営業しています。

さあ旅立とう、ロード・オブ・ザ学食。
キャンパス内のおいしさを制覇するのだ!
福大キャンパスの中には、食堂・レストラン・カフェなど11もの飲食施設がある。新入生はもちろん、在学生でも完全制覇した人はあまり多くないはず。安い・美味しい・ボリュームたっぷりの学食を、君も制覇してみないか。

文系センター棟スカイラウンジ

MENU NO.1



★オムライス 550円

おすすめメニュー ★野菜たっぷりチャンポンセット…………… 630円

Message
文系センター棟16階から見る景色は最高。メニューは肉・魚・野菜と栄養バランスのとれたものを。特に魚嫌いの学生さんはぜひ。夜8時まで営業しています。

第2食堂

一番人気



★カツ丼 300円
ボリュームもおいしさもピカイチ

おすすめメニュー ★担々麺…………… 280円
(豆板醤が効いたピリ辛スープはやみつきに)



【営業時間】
月～金 10:00～17:00
土 休業

Message
活気ある雰囲気と明るい雰囲気。丼物と麺類が自慢のメニューです。注文を受けてから一人前ずつ調理します。豚丼なども人気上昇中です。



第4食堂

一番人気



★カツ丼 290円
ボリュームあり。とろりとした卵につゆたっぷり

おすすめメニュー ★ミニカツ丼…………… 200円
女子学生向き

Message
カツ丼・からあげ丼・季節限定の丼など丼物がメインメニュー。おいしく食べてもらうため、できるだけアツアツを提供することを心がけています。昔懐かしい雰囲気もグッド。

第3食堂

一番人気



1階 ★日替わりランチ 370円
チキンカツ・コロッケ・ごはん・みそ汁付

2階 ★ミニ丼セット 370円
トリ天丼

おすすめメニュー ★豚肉のピリ辛炒め(B定食 白身フライ・ごはん・みそ汁付)…………… 370円
★カツ丼(サラダ・みそ汁・漬け物付)…………… 290円

【営業時間】
1階 月～金 10:00～17:00
土 10:00～13:30
2階 月～金 11:00～14:00
土 休業

Message
1階は毎日6品あるB定食、2階はヘルシーメニューや丼物が人気。工学部に近く、男子学生が多いのが特徴。当然、ボリュームも満点です。

学食制覇

カフェ・セレーヌ ヘリオスプラザ 2階

Message
自家製焼き立てパンが毎日約40種類。サンドイッチも約10種類用意したお洒落なカフェ。カフェラテやカプチーノなどドリンクと合わせてどうぞ。

MENU NO.1

★ソフトフランスパンのサンドイッチ 各180円
★ホットドッグ 220円

おすすめメニュー
★焼きたてデニッシュパン(5種類) 各130円
★スウィート・パイ 100~130円

【営業時間】
月~金 9:00~17:30
土 9:00~15:00




第6食堂 医学部地階

Message
中庭の見える落ち着いた雰囲気は女子学生に人気。手作り料理を中心に和食・洋食とり混ぜ、ボリュームあるメニューを日替わりでお届けしています。小鉢(100円)も人気です。

一番人気

★シチューハンバーグ&エビフライ 450円

おすすめメニュー
★ミートコロッケ 390円
★たかなめし 390円

【営業時間】
月~金 8:30~17:00
土 9:00~15:00




レストラン・セレーヌ ヘリオスプラザ 1階

Message
大学の食堂とは思えない、広々として落ち着いた雰囲気。オーダー後に調理するため、ドリア・オムライス・ランチなどをアツアツでお召上がりいただけます。

おすすめメニュー
★キノコのオムライス 550円

おすすめメニュー
★日替わりドリアセット サラダ・スープ付 500円

【営業時間】
月~金 10:00~18:00
土 10:00~15:00





コーヒー・ラウンジ 図書館ゼミ棟 2階

Message
友だちとの待ち合わせや一人のくつろぎの時間に最適。コーヒーはオーダーのたびにサイフォンで立て、しかも280円! 今後は季節限定のデザートや飲み物も提供する予定です。

MENU NO.1

★ランチセット 500円
サラダ・飲み物(コーヒー・紅茶・ジュースから1品)

【営業時間】
月~金 9:00~17:00
土 9:00~13:00

おすすめメニュー
★モーニングセット 480円
★オリジナルフレンチトーストセット 480円




レストラン ガーデン 図書館ゼミ棟 1階

Message
毎日替わりのランチタイムメニューはもちろん、オムライス・焼きめし・焼きそばなど裏メニューも好評。常連さんにはコーヒーをサービスすることもあります。

おすすめメニュー
★カツカレー 450円
カツは手作り、スパイスの効いた辛口カレー

【営業時間】
月~金 10:00~17:00
土 10:00~14:00




第7食堂 医学部地階

Message
アットホームな雰囲気の軽食堂。定番メニューの他に日替わりランチもご用意しています。たぐいまるいデザートメニューも開発中!

一番人気

★カツカレー 390円

おすすめメニュー
★セブンライス 370円
見た目はカツ丼、でも食べてみると...?

【営業時間】
月~金 8:00~18:00
土 8:00~15:00




学園のうれしいニュースやトピックスを大公開!!

サークルメッセージ

Extracurricular Educational Activities

福岡大学学術文化部会

マンドリン
クラブ



高く美しい弦の響きに魅せられて

昭和36年に愛好会として発足し、昭和38年に正式に部としての活動を始めたマンドリンクラブ。学術文化部会の中でも屈指の伝統を誇るクラブです。その歴史はもちろんですが、特筆すべきなのは規模の大きさ。部員数は4年次生を含めると常に80人前後もいて、マンドリンだけでなくギター、コントラバス、フルートなどを含めた「オーケストラ」として活動していることです。このような形態は全国のサークルでも珍しいとか。現幹事の森本展行君（経済学部3年）は「マンドリンのトレモロ（弦をかき鳴らす）の繊細で美しい響きに魅了されて入部しました」と語っています。部員たちは真剣な中にも和気あいあいとした雰囲気の中で練習に励んでいます。マンドリンに興味のある人は「木曜・日曜以外の夕方6時から8号館の3階か4階に来てください。いつでも大歓迎です」とのこと。一度のぞいてみてはいかがでしょうか。



幹事の森本展行君

5月8日(土)、夕方4時30分から城南市民センターで「スプリングコンサート」を開催予定。お楽しみに!

第76回日本学生氷上競技選手権
フィギュア男子で、中庭健介君優勝



1月8日、「第76回日本学生氷上競技選手権」フィギュア男子の部でスポーツ科学部4年(当時)の中庭健介君が優勝しました。中庭君はショートプログラム・自由ともに1位となつての初優勝です。また同部門で法学部2年(当時)の中田誠人君も2位に。福岡大学でワン・ツーフィニッシュという快挙を成し遂げました。

平成16年度父母懇談会

今年の「父母懇談会」は、6月から7月初旬にかけて、山口・長崎・大分・鹿児島・福岡(本学)の5会場で開催いたします。対象地区の皆さまには、5月上旬に案内状を発送します。当日は、学業成績・科目履修状況、学生生活全般、就職状況等について個別相談を受け付けます。

なお、対象地区以外のご父母も出席できますので、希望される方は最寄りの開催会場をご利用ください。その際の大学への連絡は、各会場の開催日10日前から1週間の期間中に、学籍番号、学生氏名等を記入のうえ「学生課(福岡市城南区七隈八丁目19-1 TEL 092-871-6631(内線2613))」までご連絡ください。

実施概要は次のとおりです。

- 説明会(大学の現状報告、学修・学生生活・就職・進路支援等について)
- 個別相談
- 資料展示
- ビデオ上映

開催場所		開催日
山口会場 「ば・る・るプラザ山口」大ホール	山口市惣太夫町1-15	6月12日(土)
長崎会場 「長崎ブリックホール」国際会議場	長崎市茂里町2-38	6月13日(日)
福岡会場 「福岡大学 七隈キャンパス」A棟	福岡市城南区七隈8-19-1	6月19日(土)
		6月20日(日)
大分会場 「大分県立総合文化センター」ホール	大分市高砂町2-33	6月27日(日)
鹿児島会場 「鹿児島県市町村自治会館」大ホール	鹿児島市鴨池新町7-4	7月3日(土)

※医学部は別日程で、熊本市で開催する予定です。

第53回全日本学生法律討論会で、
池田翔君入賞

昨年12月6日東京・八王子市で「第53回全日本学生法律討論会」が開催されました。16大学から約300人が参加し、質問の部で法学部法律学科2年(当時)の池田翔君が第3位入賞を果たしました。池田君、おめでとうございます。

九州在住ゴルファーの栄誉
「グリーンハット賞」古屋京子さん受賞

1月22日、その年度に活躍した九州在住のゴルファーに九州運動記者クラブゴルフ分科会が贈る「グリーンハット賞」をスポーツ科学部4年(当時)の古屋京子さんが受賞しました。古屋さんは昨年の日本女子アマチュア選手権で準優勝。プロテストにも合格しており、これからいっそうの活躍が期待されます。



第14回懸賞論文で佳作5編が選ばれる

恒例の福岡大学懸賞論文募集、第14回は「現代を考える」をテーマに募集を行ったところ17編の応募があり、平野貴継君「劣化ウラン-戦争が残したもの-」、清田雄太君「日本人のアイデンティティ」、里村雄君「FTAを通してみる日本の未来」、瀧本昌平君「グローバル時代におけるWTOが抱える諸問題に関する一考察-誰のためのWTOか-」、吉田美希さん「現代エネルギー事情と考察」(以上全員法学部)の5編が佳作に選ばれました。



平成15年度課外活動優秀成績者を表彰

平成15年度の課外活動において優秀な成績を収めた団体・組・個人への表彰式が昨年12月17日と今年2月9日の2回にわたり行われました。皆さん、おめでとう!



福岡大学給費奨学生、6人に決まる

スポーツ等で優秀な成果を挙げ、かつ人格・品行等に優れた学生に与えられる給費奨学生が決定し、昨年12月24日に伝達式が行われました。給費奨学生はスポーツ科学部の以下6人で、1人30万円が給費されます。杉山哲君、田代有三君(サッカー・ユニバーシアード優勝)、椿杏澄さん・山下祐芽さん・望月綾乃さん・浦田奈々美さん(水泳短水路・200メートル自由形リレー)。これを励みに、さらなるレベルアップを期待しています。



2003年度学生CMコンクールで、
戸渡聡一君銀賞

昨年10月、全日本CM放送連盟(ACC)が開催した「第16回学生CMコンクール」で法学部3年(当時)の戸渡聡一君がテレビCM部門の銀賞を受賞しました。応募総数1,998本から選ばれたものだけに大きな栄誉といえます。

心臓バイパス手術に関する
主要病院調査で福岡大学病院が
全3項目でA評価を受ける

狭心症や心筋こうそくを治療する心臓バイパス手術について、日本経済新聞社が全国200床以上の病院を対象に行った調査で、本学病院が高い評価を受けました。2002年の症例数(75歳未満)、入院中の死亡率、平均入院日数の3項目で、それぞれ上位からA・B・Cの3段階で評価され、福岡大学病院は全項目でA評価に。ちなみにオールA評価は本学も含め、全国でも7病院しかありませんでした。

大学院スポーツ健康科学専攻
博士課程後期を開設

1月30日、文部科学大臣あてに提出していた課程変更認可申請が認められ、大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻博士課程後期が4月から開設されました。本課程の入学定員は4人(収容定員12人)、標準修業年限は3年で、すでに8人が入学しています。

本学野球場で城南区「少年野球教室」を開催

2月1日に、本学野球場で城南区の大学・地域交流事業の一環として「少年野球教室」が開催されました。当日は、本学野球部員が小・中学生に野球の基本指導を行い、さらに本学国際交流会館で少年野球の指導をテーマにした講演も開催され、地域との交流を深めました。

第1回福岡大学病院防災訓練を実施

3月6日、福岡大学病院を会場とする防災訓練が実施されました。本病院は福岡県から災害拠点病院の指定を受けており、今回はそれを受けての防災訓練です。当日は地下鉄七隈線七隈駅(平成17年2月開業予定)で事故が発生したとの想定で、病院長室に対策本部を設置し、救護活動を行いました。参加者は総計239人。訓練の様子は各マスコミでも報道され、社会の災害への関心の高さがうかがえました。



▲防災訓練風景



図書館紹介

図書館でお会いしましょう。

西日本屈指のスケールを誇る、本学の図書館。皆さんは頻繁に利用されているでしょうか。新入生を迎えた春、図書館の魅力を館長に改めて語っていただきました。



図書館長 池上龍太郎教授 (人文学部)

図書館こそ、本学の「知と学び」のシンボルです。

蔵書約152万冊、雑誌約1万9,500タイトル、本館、分館、4つの分室を持つ福岡大学図書館。それは人類の英知の大きいなる蓄積であり、多感な青春期において「知」の愉しみと「発見」の喜びを味わうために、ぜひ頻繁に利用していただきたい施設です。

現代における情報はデジタルとして提供されがちですが、それはあくまでバーチャルであり、本質的にリアリティを持ちません。あくまで仮想現実です。しかし書物を読むという行為は自ら体験するものであり、その知識によって精神世界を構築する、まさにリアルなものではないでしょうか。目で見える情報は見ることによって最終してしまいます。ところが書物による情報は脳の中にイメージされていきますから、幅広く豊かなものになります。

例えば、書物の中で「とても綺麗な人だった」という記載があると、私たちはその美しさを脳内イメージします。しかし映像は、綺麗な人を見せてしまう。見てしまうと思考が限られてしまう。それでは想像力は鍛えられません。言い換えれば読書というのは知的なイメージ作業なのです。

映像文化、IT化による高度な情報発信を否定するつもりは毛頭ありません。事実、本学図書館は早くも独自のネットワークを構築し、学術情報センターとしての機能を推進しています。パソコンを利用した検索コーナーや、国内外の電子ジャーナル・外部データベースの利用を可能にしています。また情報ナビゲーション機能の整備やマルチメディアシステムの導入など「電子図書館」としての側面も十分に持ち合わせています。

しかし、技術や時代を超えて、普遍であるべきものもあるのです。図書館の本義としてはやはり「152万冊の人類の英知」を、皆さんにだけ利用してもらえたく思います。

人間は誰だって不安です。いつも豊かであるわけではない。非常に不安だし、脆いものです。そのような危機の時にどう対処するか。できるだけ自分というものを見つめて安定していくのです。結局は自分自身を深めていくしかない。「変えられないのは過去と他人」と私はよく言います。人を不安にする要素とは、自分の過去とか他人の関わりの中にあります。恋愛もそうでしょう。そして「変えられるのは自分と未来」なのです。では自分を変える、未来を変えるにはどうすればよいか。やはり読書が第一。蓄積された人類の英知に触れ、自分自身の体験として錬磨していくしかない。

本学の図書館は先の戦争による空襲で、すべてを消失しました。戦後、皆さん方の先輩は懸命の努力をして現在の図書館の原型をなす形にまで復興させたのです。そのこともまた、皆さんには知っておいてほしいと思います。図書館は創立以来の本学の象徴のひとつであり、大学での学びをつかさどるものなのです。

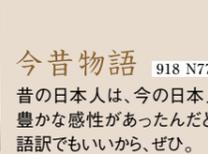


池上館長の おすすめ本

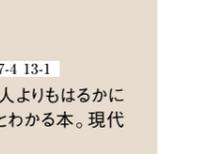
やっぱり古典を読んでもらいたいですね。長い歴史の中で読み継がれてきたということは、現代にも通用する絶対的に価値のあるものだから。しかし、古典だけというのもなんですから、いわゆる「青春の書」を私の独断と偏見で挙げてみました。



対象喪失
141.60531
失恋とか離別の悲しみを癒やすための作業の大切さを専門的に書いてある本。いつか役に立つと思います。



福翁自伝
289.1F85 17
きっと、この人が好きになります。福沢諭吉の自伝です。



唯脳論 養老孟司
491.371Y84 2+2
『バカの壁』がベストセラーになった養老孟司さんの原点ともいえる著作。面白いですよ。



ジャン・クリストフ (ロマン・ロラン全集)
958 R64-1 3-1
これは西洋の、比較的新しい古典。主人公の真摯な生き方に感動します。

※書名についた番号は本学図書館の請求記号です。上に挙げた書物はすべて本学図書館にあります。



斎藤秋圃・画「葵氏艶譜」文化12年(1815年)刊



ウィリアム・モリスのケルムスコット・プレス・コレクション
ウィリアム・モリス「ユートピア便り」1892年刊



ヨーロッパ法コレクション総目録
およびローマ法大全のDVD



「解体新書」安永3年(1774年)刊

貴重書コレクション

グリム兄弟・江戸時代九州文献・ヨーロッパ法など国内外の貴重な文献をコレクションとして整備。このうちヨーロッパ法コレクション総目録およびローマ法大全はDVD化され、デジタルアーカイブとして全国の大学図書館に送る予定です。

利用したもん勝ち!
豊富な教育施設 No.5

理学とスポーツの先端施設。
この多面性は総合大学だからこそ。

■RIセンター

RIセンターは、放射性同位元素(Radio Isotope)などを利用する学術研究施設。数多くの優れたRI計測器を備えた測定室、実験室、動物飼育室を設置した私学では珍しい先端施設です。また、管理運営の安全性を重視し、RI取扱者の教育訓練も行っています。

■体育部会ビクトリーホール

鉄筋コンクリート2階建て。1階に空手道部、ボクシング部、フェンシング部の練習場と部室、2階にレスリング部、少林寺拳法部、少林寺拳法部練習場と部室を設置。またシャワー・男女トイレを備え、250台収容の地下駐輪場も完備しています。



RIセンター



体育部会ビクトリーホール

編集後記

新入生の皆さんは、待ちに待った春の訪れと思います。春の語源は草木の芽が「張る」、田畑を「鑿る」、また気候の「晴る」の意(広辞苑)とも言われ、生命の息吹を最も感じるエネルギーな季節です。

そのようなエネルギーに満ちた若人が、よりよい大学生活がスタートできるよう今号も副学長、教務部長、学生部長ほか、たくさんの方々に取材させていただきました。取材された方に共通することは、学生への期待や成長を願う気持ちが親心に似ていることです。大学も家庭と同じと考えれば当然のことでしょう。温かい情愛は並々ならぬものがあります。また、OBの福山・ヴィオ・芽子氏からも、多忙にもかかわらず遠くフランスから熱いメッセージを届けてもらい、本学や後輩への情熱を感じさせられました。

キャンパスライフ特集では学内11か所の食堂を紹介しています。腹が減っては勉強はできません。味の好みは人それぞれですが、安心、安全に食べてもらいたいという食堂関係者の気持ちに変わりはありません。いろいろな味が楽しめると思います。

広いキャンパス内には、語らって友情の「絆」を深める場、食べて「頑張る」意欲を高める場は随所にあります。この学園通信(FD)も土となり光となって、皆さんの目標や夢を開花させる手助けとなり、大学生活が春爛漫になれば願っています。(福岡大学 広報課)

FINE DREAM 2004年4月号 VOL.5

編集・発行 福岡大学広報委員会

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1 TEL092-871-6631(代)
http://www.fukuoka-u.ac.jp/